

科目名 Course Name	証券外務員講座Ⅱ Certificate Sales representative lessonⅡ				ナンバリング No.	C2-011	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	水谷 恒夫						
連絡方法	C-Learning で対応。非常勤講師室。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と 到達目標	銀行、証券会社など金融機関で販売している金融商品を案内する業務は証券外務員試験に合格し、金融機関で氏名等を登録することが義務付けられています。さらに社会人として知っておくべき経済・金融の幅広い基礎知識が得られることが、この資格の魅力でもあります。本講座では、二種証券外務員資格の合格を目指します。						
授業の方法	講義形式で行う。授業の中で問題演習にも取り組む。						
学習成果	L01	経済、金融の基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L02	経済、金融の専門的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	問題演習は模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	①2024～2025 証券外務員学習テキスト(一種・二種対応) (株ビジネス教育出版社 発行) ②2024～2025 証券外務員(二種)対策問題集 (株ビジネス教育出版社 発行)						
履修上の留意点 やルール等	C-Learning で出席を取るの、遅刻しないように教室に集まること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。板書を記入するノートと電卓(12 桁推奨)を用意すること。 C-Learning による小テストには提出期限を設ける。期限後提出は採点しない。 授業中はスマートフォン等を使用しないこと。						
担当教員の実務 経験	実務経験(職種:FP 事務所経営 職歴:2009 年～現在に至る)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	板書をノートに記入し、スマートフォン等は使用しないこと。				
レポート／作品					
発表					
小テスト	第 10 回目をめどに小テストを行う。評価割合は 40%とする。	20	20		
試験	定期試験の評価割合は 60%とする。	30	30		
その他					
合 計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	財務諸表と企業分析① 財務諸表の意義と役割
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
2	授業内容	財務諸表と企業分析② 安全性分析
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
3	授業内容	金融商品取引法① 総論
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
4	授業内容	金融商品取引法② 金融商品取引業等
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
5	授業内容	金融商品取引法③、金融商品販売法
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
6	授業内容	協会定款・諸規則① 日本証券業協会の概要
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
7	授業内容	協会定款・諸規則② 有価証券の寄託、受け入れ
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
8	授業内容	協会定款・諸規則③ 広告等の表示に関する規制
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
9	授業内容	取引所定款・諸規則
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
10	授業内容	付随業務、セールス業務、小テスト
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
11	授業内容	二種外務員試験 問題演習① 第6, 7章
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
12	授業内容	二種外務員試験 問題演習② 第8, 12, 14 章
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
13	授業内容	二種外務員試験 問題演習③ 第11, 13, 2 章
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
14	授業内容	二種外務員試験 問題演習④ 第2, 3, 4章
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
15	授業内容	二種外務員試験 問題演習⑤ 第5, 10, 11 章
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認